

「地域が育てる・ふるさと笠郷を創造する！」

「笠郷地域創生自治町民会議」だより

防災訓練実施予定、行政懇談会協議内容

笠郷地域創生自治町民会議会長 大橋 徳法

1. 本年も防災訓練を実施しますので、対象の方は日程を練り合わせてのご参加よろしくお願ひします。

対象者： 地区防災隊、消防団第6分団、笠郷地区女性防火クラブ、交通安全笠郷分会

訓練内容： 伝達訓練、AED・心肺蘇生法の講習

日時： 平成30年 8月19日（日） 午前7時45分 ～ 午前8時50分

場所： 笠郷小学校体育館

■警報発令時、中止の場合は連絡ルートを通して連絡します。

2. 7月24日『行政懇談会』が開催されました。これは町民の声を反映した町政を運営していくことを目的に、毎年町民と町長及び町職員が町行政について話し合い、質問、提言等に答える場となっています。

町側出席者：大橋町長、柏渕副町長、田中総務部長、久保寺住民福祉部長、田中産業建設部長 他全14名

地区出席者：安田区長会長、大橋笠郷町民会議会長、他区長、副区長、笠郷町民会議部会長等全17人

<協議課題>

1. 災害時用資材、備蓄品の充実化に向けた予算化スケジュール、及び防災拠点（備品倉庫含む）の整備、拡充について明確化して早急に進めてほしい。

〔回答〕備蓄倉庫は町本部倉庫を拠点に11か所の防災備蓄倉庫を設置、笠郷地区は笠郷自治会館内に設置している。南海トラフ巨大地震の想定避難者数3,300人を目安に備蓄を進めている（現在備蓄数 水：4,570リットル、食料：17,800食）。備蓄食料数の充足については、計画的整備を進める。笠郷自治会館に防災拠点・備蓄倉庫があるが、将来設計については協議してゆく。

〔意見等〕現在の備蓄倉庫は洪水時に水没する。水防倉庫等を備蓄倉庫に利用できないか。暫定避難として笠郷自治会館2階、または笠郷小学校2、3階に2ヵ月を目途に移動したい。

〔回答〕水防倉庫に備蓄食料の保存は、衛生上の問題があるため改修整備の必要がある。小学校等への暫定移動については早急に検討する。

2. 高齢者の一人暮らし、障害者の支援対策について、地域と行政の協働計画を示してほしい。昼間時、中年世代のいない時間帯が心配だ。

〔回答〕独身高齢者（65歳以上）には「命のバトン」を無料配布し、救急時のみでなく、災害時にも活用する啓発をしている。昼間時災害対策として、災害時要援護者名簿を作成（現在788名）し各行政組織、民生委員等で情報共有している。避難所要配慮者には「福祉避難所」を用意しているが、更に介護サービス事業者にも交渉してゆく。災害時安否確認については、小中学校、公民館等の特設電話以外に町内3郵便局でも被災者避難先リストを共有している。

3. 笠郷小学校、東部中学校の通学路整備について、河川や水路への転落事故があり整備してほしい。「養老町通学路交通安全プログラム」の運用状況はどうか。

〔回答〕河川、水路への転落危険場所については、転落防止柵設置について協議してゆきたい。東部中東側の五三川堤防については県へ検討依頼している。「養老町通学路交通安全プログラム」については、前年度改修改善した工事内容と本年度点検カ所を報告し協議している。

〔意見等〕「養老町通学路交通安全プログラム」での東部中、笠郷小学校通学路に対して指摘箇所は。

〔回答〕通学路安全推進会議で協議している。

4. 行政（防災情報）勉強会

防災行政無線のデジタル化への利点は何か。自主防災隊等の活動に生かしたいので計画を知りたい。

〔回答〕平成31年から2年でデジタル化整備予定。町からの伝達手段は防災行政無線（アナログ）、安全安心メール、町HP、電話連絡等あるが、デジタル化により管理が一元化され、携帯アプリ等の活用が期待できる。避難経路・場所については「避難計画策定支援事業」に従い、今年度町と笠郷地区の協働による避難経路・場所選定の第1回ワークショップを開催する。

町を交えハザードマップ、避難経路、情報伝達網等について安全・安心部会勉強会を8月から開催してゆきます。

ゴミ捨て防止、通学路注意、交通安全等の看板で、確実に固定されていない看板を見かけた時は、各地区の役員か町民会議事務局までご連絡をお願いします。
(町民会議事務局：36-0006)